



## 【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名： 秋田県 バasketボール協会	
場 所： ニツ井総合体育館 (Dコート)	記入者： 藤 澤 大 樹	
チームA 城 南                    52 (秋田 1 位)	9- 4 13-13 17- 9 13-14	チームB 桜の聖母 (福島 2 位)

スターター	チームA： # 4, # 5, # 6, # 7, # 8
	チームB： # 4, # 5, # 6, # 7, # 8
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン (                    ) <input type="checkbox"/> その他 (                    )
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン (                    ) <input type="checkbox"/> その他 (                    )

第 1 ペリオド出だし、両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。互いに初戦のためか、動きが堅く、シュートが入らない。また、ミスによるターンオーバーも続き、開始 3 分間は無得点。城南#6 板井がショートコーナーからジャンプシュートを決め、先制。その後も両チームともリズムに乗りきれず、得点が入らない。ようやく残り3分過ぎに、城南#12 浅利がインサイドやポストから、#8 嵯峨が 3P を決め、リードする。第 1 ペリオドは、城南が 9-4 として終える。

第 2 ペリオド、桜の聖母はディフェンスをオールコートプレスに変え、積極的にボールをねらっていく。#5 高橋がゴール下を決め、反撃ののろしを上げる。城南もスティールから#8 嵯峨や#7 金が決めるものの、決定的に試合の流れをつかむには至らない。外からのシュートで攻めるものの、決まらない。逆に桜の聖母は、リバウンドを確実に速攻へ結び付け、#7 吉田、#5 高橋のレイアップや#4 白石の 3P で、残り 4 分過ぎに 13-13 と同点に追いつく。その後は両チームとも点の取り合いとなるが、城南はインサイドを攻め、#12 浅利がリバウンドからのシュートやジャンプシュートを決めるなどし、22-17 と城南が 5 点リードして前半を終了する。

第 3 ペリオド、城南はディフェンスをオールコートの 1-3-1 に変え、プレッシャーを強める。#8 嵯峨、#5 畠澤が連続して 3P を決めて残り 6 分に 30-20 とするものの、桜の聖母も直後に#5 高橋や#4 白石が決め返し、30-24 とし、完全に試合の流れを渡さない。高さでは城南に劣るものの、果敢にインサイドを攻める。一方、城南は桜の聖母のしつこいディフェンスに手を焼き、なかなか差を広げられない。同じような試合展開が続くが、33-26 となった残り 2 分を切ったところで、城南は#7 金がゴール下、#6 板井が 3P を決めて、39-26 と 13 点リードして第 3 ペリオドを終える。

第 4 ペリオドは一進一退の展開となる。互いに相手のディフェンスを決定的には崩せないものの、桜の聖母は#4 白石がレイアップや 3P を 2 本決めるなど追いつがるが、城南も#6 坂井の 3P などでもリードを保ち、結局 52-40 で城南が桜の聖母の追い上げを振り切って勝利した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。